

第38回 全日本少年サッカー大会静岡県大会 中東部支部予選

期 日 平成26年4月13日(日)・20日(日)・29日(火祝)

開 催 支 部 静岡県サッカー協会中東部支部四種委員会

会 場 蒲原河川敷DFコート

- 参 加 資 格
- ① 本大会の趣旨に賛同するチームであること。
 - ② 第4種及び女子(小学生)加盟登録した団体(チーム)であること。(準加盟チーム含む)
 - ③ 上記団体(チーム)に所属する4年生以上選手であり、(財)日本サッカー協会発行の登録選手証を有するもの。本予選大会に限り、25年度の選手証を使用する。前年度と所属チーム名が異なる場合は、本年度の登録チーム名が確認できる書類を持参すること。
 - ④ 参加チームは単一チームに限られ、年間を通して継続的に活動していること。
 - ⑤ 地区予選から県大会、決勝大会に至るまでに同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会へ参加することはできない。
 - ⑥ 同一チームから地区予選に複数チームが参加し、どちらかのチームが県大会に出場するときは、登録選手枠の空き分だけ、もう1つのチームから追加できる。

参加チーム 29チーム 県大会出場枠1チーム

チーム編成

- ① 代表者1名、監督1名、コーチ2名、選手8～16名 計20名以内
- ② 引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること
また、内1名が公益財団法人日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
- ③ 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- ④ 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

監督者会議 平成26年3月26日(水)19:00～清水総合体育館2階AB会議室

抽 選 方 法

第29回しずぎんカップ中東部支部予選のベスト8をシードとし、残りはフリー抽選とする

チーム編成

シードチーム:不二見SSSA・飯田FSSS・清水クラブSS・VALOR FCA・三保FC・高部JFC・SALFUS oRs・岡小SSS

●選手学年の下限

- ① 本大会に参加できる選手は最上級生から2学年下までの範囲とする。

●複数チーム

- ① 1登録チームから複数のチームがエントリーできる。ただし、各チームは6年生が6名以上エントリーされていること。
- ② いずれかのチームが県大会に出場することになった場合、他方で予選へ参加した選手を県大会エントリーメンバーへ追加することができる。入れ替えはできない。追加のみ認める。
- ③ 複数チームがエントリーする場合、代表者は同一人物で構わないが、監督、コーチは重複しない人物であること。

●混成(合同)チーム

- ① 全日本少年サッカー大会予選への混成チームは参加できない。

競 技 方 法

- ① 一次予選はリーグ戦(3チーム×7ブロック・4チーム×2ブロック)とし、二次予選はトーナメント戦とする。
- ② 試合は一次予選・二次予選共に8人制とし、試合時間は40分(インターバル5分)とする。
- ③ 一次予選は同点でも延長は行わず、(1)勝点(2)得失点(3)総得点(4)当該対戦成績(5)抽選の順によりリーグ戦内の順位を決定。
- ④ 二次予選トーナメント戦は同点の場合は延長戦を行わず、3人によるPK戦で勝者を決定する。

競 技 規 則

(財)日本サッカー協会8人制競技規則に準ずる。ただし、静岡県サッカー協会中東部4種少年委員会細則を定める。

- ① 試合球は公認4号球とし、対戦チームより試合球を決定する。
- ② 交代要員8名以内とし、8名までの自由な交代を認める。
- ③ 退場処分または、本大会を通して警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- ④ 一方のチームが6人未満になった場合、試合は成立しない。リーグ戦はそのチームの全試合結果を抹消する。
- ⑤ ベンチに入ることでできる人数は登録された者に限り12名(交代要員8人、代表者、監督、コーチ2名)以内とする。ベンチはピッチに向かい左側に若い番号のチームとする。
- ⑥ テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度ただ1人の指導者が伝えることができる。
- ⑦ 天候に応じて前半1回・後半1回の飲水タイムを設ける。
- ⑧ 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される指導者の数は2名以内とする。
- ⑨ 選手は試合会場に登録選手証を持参し、登録確認は毎日1回、試合会場本部にて速やかに確認を受ける。
- ⑩ 事前にメールにて送られてきたメンバー表を作成し当日持参。
ただし、提出後に登録番号・背番号・氏名(フリガナ)等の訂正がある場合、試合日当日、本部に訂正を伝え当該チームの大会第一試合前までに訂正すること。なお、第二試合以後のメンバー表は全て訂正したものを提出すること。
- ⑪ メンバー表は試合日毎作成、1試合に2部(本部・予備審用)。各試合時20分前までに、本部へ提出する。
参加チームはメンバー表をコピーし持参すること。
- ⑫ ピッチの大きさ 縦(65～)68m、横(45～)50m
ペナルティーエリア 12m
ゴールエリア 4m
センターサークル 7m
ペナルティーマーク 8m
ペナルティーアーケ 7m
フリーキック時の壁との距離 7m

ゴール 少年用 (2.15m×5m)

- ⑬ グリーンカード制度を導入する。
5,000円 (監督者会議時に集金)

参加料
ユニフォーム

- ① 参加チームは、異色のユニフォームを2着用意する。ユニフォームの番号はエントリー時に登録したものとする。1～20までの通し番号でなくても良い。縦縞、横縞のユニフォームを使用するチームは、台地に背番号を付ける。
- ② ユニフォームに背番号を付ける場合、試合中に取れることのないよう付けること。
なお、試合中に背番号が取れた場合、一度、ピッチより退出し、直してから再出場しなくてはならない。
- ③ メンバー表提出時または事前に対戦相手とユニフォーム上下及びソックスのいずれかの色が重なると分かった場合、当該チーム同士の話し合いにより重なった部位の色の変更を決定をする。(ゴールキーパーについても同様とする)
ただし、話し合いが不成立の場合、当該試合の主審立会いの下、本部にてコイントスを実施し決定する。
- ④ 背番号は必ず付け、同番号をユニフォームの胸またはパンツの前(側)面に付けること。
- ⑤ アンダーシャツを着用する場合、半袖ユニフォームの袖色と同色のアンダーシャツを着用すること。
- ⑥ 半袖ユニフォームの袖色と同色のアンダーシャツを着用する場合は、半袖と長袖(アンダーシャツ着用)の選手が混じって試合を行うことができる。
- ⑦ ユニフォームシャツ(ゴールキーパーを含む)の色彩は通常、審判員が着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- ⑧ フィールドプレーヤーがソックス上にテーピング等を施す場合、ソックスと同色とする。なお、ソックスの折り返し部分はフィールドプレーヤー全員が同じものを着用すること。
- ⑨ パンツの下にスパッツ等を着用する場合、パンツの主たる色と同色のものを着用すること。
- ⑩ 第二GKのユニフォームは第一GKのユニフォームとメーカーが異なっても同色であればよい。
- ⑪ ユニフォームシャツとパンツのメーカーが異なるメーカーでも構わない。
- ⑫ 同点によるPK戦においてフィールド選手がゴールキーパーを行う場合、フィールド選手1名(交代1回目)に限りフィールド選手のユニフォームのままプレーを認める。その後(交代2回目以降)は正規のゴールキーパーユニフォーム(当人の番号付き)を使用しなければならない。

ただし、ゴールキーパー負傷による交代の場合は交代1回目と同様に扱う。

- ⑬ 8人制サッカーにおいて試合途中、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーへポジションを変える場合、パンツ・ストッキングはそのままで、他の選手と重複しない番号がついたフィールドプレーヤー用のシャツを着用し出場することができる。また、試合途中、フィールドプレーヤーがゴールキーパーへポジションを変える場合、フィールドプレーヤーユニフォームの上にピッチ内選手のシャツと異色のビブス(番号の有無、数字は不問)を着用し出場することができる。

その他

- ⑭ ゴールキーパーは試合開始時にはゴールキーパーユニフォームを着用していること。
- ① 選手は試合当日、登録選手証に写真貼付をし、持参し、会場で登録チェックを受ける。
- ② 選手証に貼付する写真(縦3×横2.4cm)は証明写真またはそれに準ずるもの(背景が1色)とし、スナップ写真等は認めない。
スナップ写真等と判断された場合、出場できないこともあり得る。
- ③ 予選で不正行為があった場合は4種委員会役員会で裁定を下すものとする。
- ④ 試合における事故は、運営本部にて応急処置はするがその後はチームまたは保護者の責任とする。
- ⑤ ケガ等により包帯等を巻いて出場する場合、チームの判断に委ねるが、不明の場合は、本部及び当該試合の主審に確認をすること。
ただし、出場を控えるよう指示があった場合には、それに従うものとする。
なお、骨折等により石膏をしている場合は、出場できない。
- ⑥ 試合終了後は相手チームベンチへ挨拶に行かず、直接自チームベンチへ戻り、速やかにベンチを空ける。
- ⑦ (財)日本サッカー協会公認コーチ資格D級以上を有する指導者はライセンス認定証に写真を貼付し、携帯していること。
- ⑧ ベンチに入る代表者・監督・コーチは常に紳士的な態度で行動をとらなければならない。
今大会の趣旨をわきまえ、指示を出した後は速やかに元の位置に戻るよう心がける。
- ⑨ ベンチ内は、(喫煙・ガム、携帯電話等)禁止とする。違反した場合は、会場本部の判断により注意し、退席処分とする。
- ⑩ ベンチ内外からの罵声等に対しては、会場本部の判断により注意し、退席処分とする。
- ⑪ ゲーム中は選手が自由に判断し、様々なプレーにトライできるようサポートする場となるよう心がけること。
なお、チーム代表者は応援者に対しても、常に紳士的な態度で応援を心がけるよう指導しておくこと。
- ⑫ チーム代表者は応援者に対し、ベンチの反対側のピッチサイドにて応援するよう指導しておくこと。
- ⑬ ベンチ内にはメンバー表に記載されている指導者以外の立ち入りは認めない。
- ⑭ 原則、試合中のベンチへの用具運搬等はベンチ入り時に行うようにすること。
- ⑮ 不戦勝の場合のスコアは8-0とする。

審判

- ① 主審は3級以上の上級審判であること。なお、主審以外は4級審判可とする。
また、主審以外の審判は試合をしっかりとコントロールできる者とする。
- ② 全ての審判員は審判証に写真を貼付し、常に携帯しておくこと。
- ③ 全ての審判員は各試合10分前に本部に集合し、審判証の確認および打合せを行う。

会場設営

- ① 会場設営等は参加各チームより指定された人数の運営委員が参加し、指定された時間に集合、協力し行う。
なお、理由なく参加しなかったチームは、4種委員長の判断により大会に参加できない場合もあり得る。